世論調査がみた わたしのナヤミ

三池合成労組では春の賃上げに備えて、一月十日各職場一斉に世論調査「わたしの要求」を開始したが、その中から二、三組合員の声を拾つて見よう。

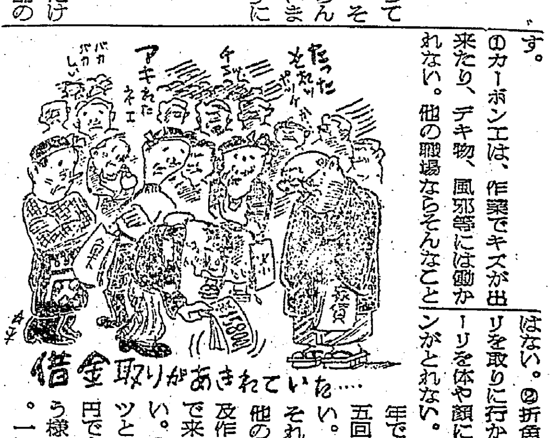
すぐ借金でギユツ ぜひほしい五千圓

【その一】わたしは勤続十年で四八才、扶養家族五人だが、残業をせんと一ケ月一三・〇〇〇円位しかない。これで六人の者が喰うのにヤツトカツトです。たまに残業があつてもすくないので困る。子供が学校に行つていますが、子供でん馬鹿になりまつせん、大分入ります。洋服も着せんとなりませんが、これは買うとすぐ借金でギユツと言います。高利貸からヨツポド借ろかと思う時もありますがヨウヨこらえとります。こんどの賃上げは五千円位上げて下さいわたしもやります。

【その二】中闘は何時も闘争に入る時は徹底的にやると言つていながら途中で止めてしまう。それでは賃金もすこししか上がらんし、組合も弱くならないと思います。今度こそ途中でヘコタレずに頑張れ。

すこしのキズもキケン カーボン工

【その三】これはわたしだけではありません、カーボン全部のものがそうです。箇条書きにします。①カーボン工は、作業でキズが出来たり、デキ物、風邪等には働かれない。他の職場ならそんなことはない。②折角の公休日にもゴーリを取りに行かねばならない。ゴーリを体や顔に塗らないとカーボンがとれない。③ゴーリ取りに一年ですくなくとも十四五回は行かねばならない。公休も慰労休暇もそれでフイになる。④他の現場の工員で修理及作業に来る人で喜んで来てくれる人はいない。⑤環境手当はずーツと前にきまつた二元円です。是非増して頂う様に交渉して下さい。一日に百円は是非


バカバカしい
アキれたネエ
借金取りがあきれていた……

高物価の後追う賃金

賃金闘争に主婦のあと押し

大地評主催 〝生活を語る座談会〟

傘下各単産の組合員並に主婦の方々を招いて三鉱会議室で〝生活を語る〟座談会をひらいた。以下その紙上録音である。

出席者

電産港	上野　昭二
〃	堤　高審
〃	中島ヨシヱ
〃	衛藤みどり
電化労組	中島　嗣敏
東圧〃	猿渡　晋幸
合成〃	竹村　久子
東圧〃	井上　久子
教組	岩手とめ子
〃	蒲池美智子
三川支部	久後クニヲ
〃	勝目キクノ
本所支部	江崎カヲル
〃	中島みどり
三鉱本部	平島　敏治
司会＝大地評	瀬尾信次郎

期末手當も焼石に水

司会 では先ず米の値上りなどから始めて頂きましょうか。

三鉱 去年と今年の正月をくらべ我々三鉱の場合、今年の方がはるかに苦しかつた。

電産Aさん 越年闘争の最中組織が割れたので非常に苦しい闘いをやつたのですが、中央常任委員の中島氏の話によると全国的にまだ五、六千円程度取れる余地があつたという事です。

電産Bさん 前年と大差なく頂いたのですが燃料その他の値上りと日常の赤字埋めで苦しかつた。

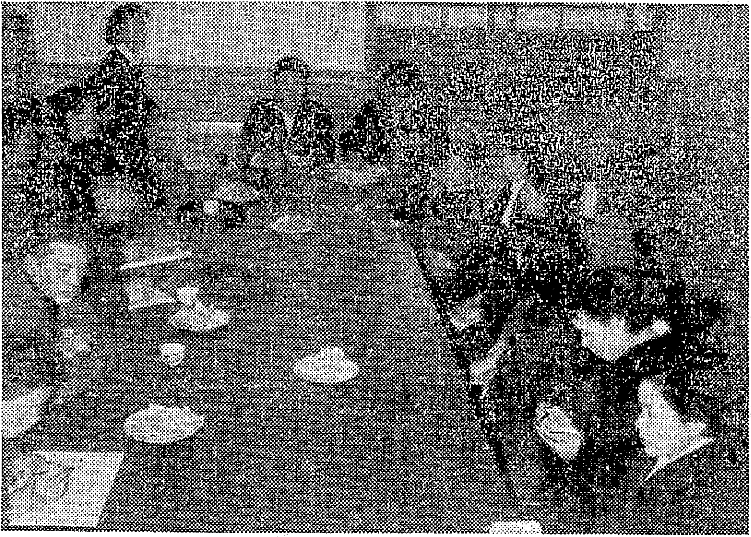
東圧Aさん 昨年賃増で一〇％上りましたが物価指数は一七％のハネ上りなので結局赤字です。世論調査では手取りでもう三千円欲しいというのが大部分です期末手当は八千二百五十円で、大牟田では一番好かつたのですが、それでも厚生資金（共済会貸出しの如きもの）から廿万円上廻つて出さざるを得なかつた一番取れたといわれるうちがそれですから—

東圧Bさん 附近の社宅の人達から東圧は好い好いといわれますが、漬け物一つ買うにも考えねばならないというのが実状です

電化Aさん 昨春二千円アップさせたのですがボーナス（年二回）を渋つたので年間収入は僅かしか上らず、越年資金は大牟田で最低で、労金からの融資で一人二千四百円を貸し出した。そんな調子なので正月にも各家庭共極度に引きしめて酔つて歩いている人をほとんど見かけなかつた。

教組Aさん 皆さんと同じで僅かしか頂けないところに源泉徴集でゴソツと持つていかれたので焼石に水、赤字補てんが精一杯で子供に正月気分を味わせる事も出来ませんでした。

同Bさん 実際生活を申上げますと米と共に地代が約三分の一も上り、餅も例年の半分に切り詰め、正月用品も三分の二程度に節約しました。子供の着[illegible]と思いましたが、それあ[illegible]がやつとでした。予算生[illegible]て居るのですが予備費がないためどうしても赤字を免れず、ボーナスでそれを埋める事になります。



三川Aさん 主人は坑内機械、家族八人、一昨年の六十三日スト以来経済がつまり店屋から通いで取るのでそれを払うと一銭も残りません。給料の手取りは好くて五千円程度、正月が来ても子供に足袋一足買つてやれません。

同Bさん 私のところはケタ外れなのでお話しても参考には…

〇—Bさん 組合でも出来るだけのことはして頂いていますが、何分主人が酒呑みなものでひどい苦労をしました。昨日七千八百円金受けしましたが方々の借りを払うとせんぐ残らず、米もないという始末です。それでも今度の首切り闘争で私が炭婦協の副会長として力の限り闘つたのを人から聞いて奮発し行動隊にも入り、また四日禁酒禁煙を誓つて以来、フツヽリと止めて居ます。

司会 ドン底生活の人達が首切りで殆んど辞められたのに、奥さんの活躍で御主人を奮起させたという事に対し拍手をおくりたい。これから先も組合と共に頑張つて下さい。

本所Aさん 主人は経理の事務室なので時配もなく給料もすくなく、年末にすこし位頂いても赤字埋めにもなりません。

同Bさん 自腹せよといわれなくても今年は歌声、つしない正月でした。米の値上りで一番痛感しましたのは、炭婦協が反対運動を行つたのですがこれはもつと広いつながりでやらなければ効果がない事でした。

東圧Aさん 東圧は好かつたようですが給与体形の関係で上に厚く下にうすいので一般には決して楽ではありません。

せめて二万圓は

司会 行き詰つた生活の現状をどう打開するかについて—

本所Bさん 今でさえきついのですからこれ以上物が上つたらどうにもなりません。何とか最低生活だけは確保するため私達主婦にもあらゆる部面から力を注がなければと思います。

三川Aさん 内払いを引かれると八人家族で手取り一万三千円—どうしても賃闘は勝ち抜いてもらわねば…。

本所Aさん 最低で八千円ほしい

本所Bさん 期末手当を呑んだのは賃金に期待をかけたからであるので賃闘に期待しています。

司会 幾ら位足りないですか？

東圧Aさん その前に現在の手取りをきいて欲しい。

本所Aさん 四人家族、共済会の借金千七百円を引かれて六千八百円です。

三川Aさん 八名で一万二千円、せめて二万円はないと…

教組Bさん 私の手元に渡されるのが一万八千円、五人家族ですが実際は親もとに送金しますので八人です。もう三千円ほしい

東圧Bさん 六人家族で一万六、七千円。

合成Bさん 六人家族、一万一千円、あと四千円ほしい。

電産Bさん 一万二千円で三人ぐらしです。三千円不足です。

司会 戦前程度の生活で二万五千円は要るから足る筈がない。株の配当は二割、三割の高利率なのに労賃は半分なのですから。

電産Cさん 欲はいわないからせめて二万円欲しい。

教組Bさん 女ばかりで話合つたのですが、現在の給料ではどうしても物価の値上りに追つかない、ならば袋の中味をふやすか物価を安くするよりない。結局臺所が政治に直結するという事を見究めてかヽらねばどうにもならないという事を痛感した次第です。

炭婦協が好い手本

電産Bさん 三池炭婦協は私達にとつて好いお手本になりました

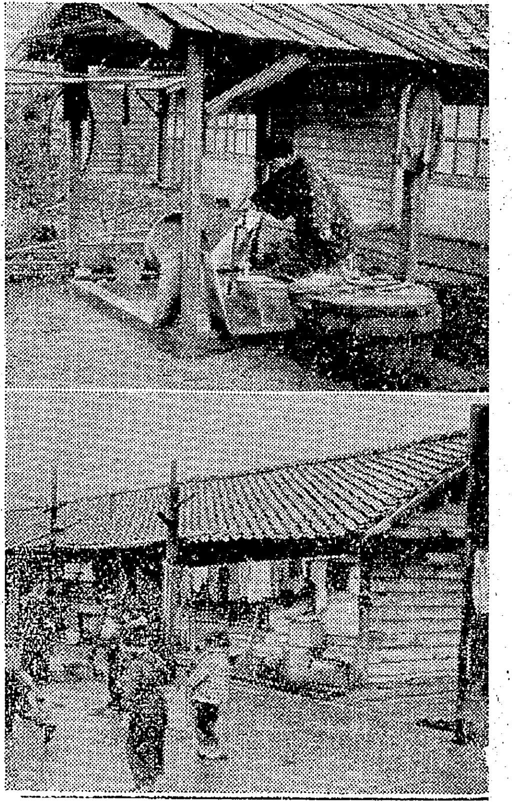
三川Aさん 私達の生活は何処にもましてヒツ迫していま。いきおい頑張らざるを得ません。

東圧Aさん その点一番怖いのはうちあたりだ。給与は比較的安く、これまで闘争らしい闘争をやつて居ない。しかし今後それでは済まない。その場合奥さん方が何処までついてこれるか不安だつた。三鉱がその点好いお手本です。お礼を言いたい。

合成Aさん 昭和廿三、四年、組合が一番盛上つて居た時ストを打つた。奥さん方が支援して下さつたが肝じんの組合が四分五裂の状態に陥り遂に敗北に終つた。以来奥さん方の信を失い、社宅廻りをしてもコリコリだといわれる。然し最近漸次盛上つて先のケツキ大会にも五、六名程参加して下さつた。

電産Bさん 現在うちの婦人団体は団結が固い。越年闘争には自発的に坐り込みにも加わつて下さつたし賃闘にも極力頑張る決意を示している。

司会 組織としてまとまつているところとそうでないところはあるが食える賃金をカク得するため組合と共に闘う決意は充分だという結論を出してもよいようですね。ではこのへんで、どうもお忙しいところ有難うございました。


三鉱の或る社宅では　共同水道場へ行つていた留守に　赤ちやんがヤケドで死んだ　一戸一戸の水道がほしい。

染料の或社宅では、雨降りに傘を家の中でささねばならぬ、もつと文化的な社宅がほしい。

社宅の横顔

佐藤被告を招き

松川事件の真相発表会

松川事件で四年三ケ月の獄中生活をおくつた佐藤さんは十二日来牟以来、真相を一人でも多くの人にきいてもらうため各職場や社宅に座談会、講演など活動しており、本月一杯大牟田に滞在の予定、大地評では佐藤さん、諫山弁護士をまねき二十九日夜六時から労働会館で真相発表会をひらくが、多数の傍聴をのぞんでいる。

ところ　労働会館
とき　廿九日夜六時

共同デスク 組合めぐり

第二回　東壓勞組

離合常なき過去を精算

職従合同の強力組織を

戦後、雨後の筍の如く発生した労働組合結成の波にのつて、昭和廿一年従業員組合が誕生、翌二十二年六月に、早くも職従両組の合併で名実共に東圧大牟田労組が発足した。雪国北海道砂川と南国大牟田を結ぶ東京（本店）大船、彦島（下関）の五単組約七千名で東圧連合会を構成し、当時ウナギ上りの物価高に　補給金、突破資金等の闘争につぐ闘争を以て終始した。

然るに昭和二十六年全国的な第二組合の芽生えは東圧にも起つた。春の賃上げ（四時間スト）の結果、大牟田、彦島の一部は脱退して、社員組合を組織、攻撃の鋒先を会社から外らした事は全く本末てん倒であろう。ついで昭和廿七年八月企業連合の行きづまりを打開するため、東圧単一に発展解消し、更に昨年八月合化労連に全東圧一本加入を見た。

戦線統一上慶すべき哉！

翻つて大牟田支部は過去連合会時代から、東圧の中心勢力としてリードしながらも、今迄に回数で二回、延二十八時間のストライキ実績を持つている。このことは最近スト直前の効果のみ狙つて闘争を終結している東圧の実状からして記憶から遠のいていることであろう。現地に交渉の権限なく、交渉場裡と、大衆の集結された意欲のギャツプをどう克服するか、大牟田支部の腐心である。

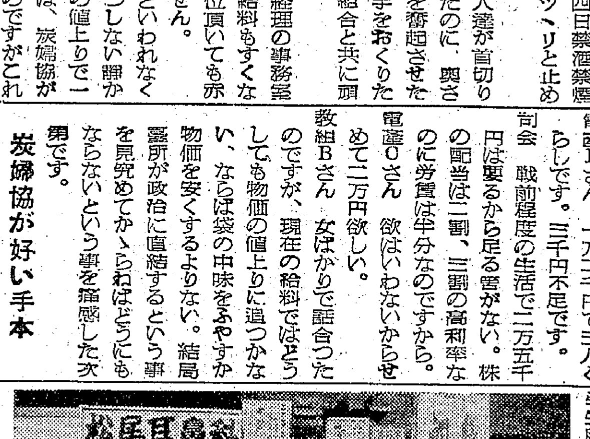
時には向う鉢巻で事務を、或いは口角泡を飛ばしながら会議を、隣りには現務員高労会、その向うには社員組合事務所を置いて賑やかなのが支部組合事務所である。そこに君臨するのが口悪は恐らく大牟田一と異名をとる猿渡支部長、きつい眼鏡でしに精力さを見せている。

今やそこも春季闘争の準備に忙しい。三月一日要求の賃上げ世論調査は年末の悪条件の中で回収されながらも七六％の成果を擧げ、中五十五％の人が三千—五千円を強く訴えているが、今正に大衆討議に入らんとする重要段階に来ている。片や臨時工制度撤廃を目指して、現務員高労会との合同を双方の対策委員を中心に進めているが、賃上げと共に闘われる労協、結婚資金期末手当の勝利のために一日も早く合同実現を期して止まない

がつちり腕くんで（東壓勞組のデモ）

たちまち三万円 街頭でカンパ

全員解雇と闘う赤玉勞組



学生服、オーバーなどをつくつている柳川市赤玉被服労組（約百名）では、大晦日の十二時まで仕事をやり、除夜のカネをきいて家路につこうとした新年早々、事業不振を理由に販売員をのこし「首切り」を言いわたされた。一時は絶望と不安のうちに正月をむかえたが大地評、県総評、三鉱各労組の応援をえて事業再開、復職で社長と交渉している。一方十五日から街頭に進出、闘争協力と資金カンパを訴えたところ、柳川市内で一万八百二十七円、大牟田で一万三千六百八十八円の募金が出来た。某組合員は感謝と喜びの気持ちを次のように語つた。

きれいな服装をした人は殆んどカンパしてくれませんが、労働者の方はみんな本当に自分のことのように心配してくれました苦しい闘いを助けて下さる人々は、只同じ働く労働者だけであるということをつくづく感じました。

地労委に提訴か

社長との団交も四回をかさねているが、閉鎖理由は「資金難だ」「製品が悪い」「滞貨が千二百万円もある」などでネコの目のように変つているが、終始「皆さんが本当に再開する気持ちなら、私も願意せんでもない」と平然としている。激怒した組合員は、二十一日大地評、傘下各労組の応援をえての団交をヤマとして、地労委への提訴を実施することになつた。

春の闘争におもう

財政経済政策が経済界の動向に大きな影響を与えている今日、経済界の動きに受身に立たざるをえない組合運動は政界や経済界と同じように、春の陣で以て一段落をとげるその意味で春季闘争は昨年の宿題の仕上げであり整理であると言える。それなら、春季闘争は従来の事情に変化がない限り　全体として、やはり統一闘争とか企業別闘争の清算とか大衆闘争とか組合の分裂とか、同じ問題同じなやみをもちながら、同じ傾向に終らざるをえないと考えられる。しかし全く同じというわけにはいかない。組合員は当然昨年の闘争の体験を通じて貴重な反省と批判を身につけているに違いない。その上、政界にも経済界にも、昨年には見えなかつた新しい傾向が、今日ではすでにはつきりとした展望が許されるような事柄となつて現われてきたし、もつと将来への予想も可能になりつゝある。組合運動についても同じように考えてよい。そうだとすれば、春の闘争は将来の闘争の試金石になるとも考えられる。つまり春季闘争は昨年の宿題の整理であるとともに将来をトする闘争でもある。

ブチ切ろう悪循環

働きすぎて貧乏だ

昨年の闘争を反省批判しながら整理するという意味では春の闘争に最も必要なことは組織の防衛強化と闘争の大衆化統一協同化ではなかろうか　この問題は二、三の例外はあるにしても昨年は大体失敗だつと思う。甘く見れば、それ要求や戦術のまずさはもちろんだが、組合幹部は組合員や家族や大衆の中に汗みどろになつて入りこむ必要があろう同時に私に言わせれば幹部にもつと勉強してほしい。とはいうものの、やはり大局的にはよくやれた、春もやれるだろう、と見る。

もしこの春の代表的な闘争が惨敗したら、組合運動は今年は敗走を続けよう。軍事的傾向は一層強まるだろうから産業界の景気の不均一と編成替からくる大衆生活の上下の差、全体としての窮乏化、組織の分解、闘争力の弱化、戦闘的組合や組合幹部に対する狙撃的弾圧、大衆の屈従、これらの傾向が強くなるだろうしかしこのような最悪の諸傾向があらわれたとしても、労働運動の精鋭部隊はその力と意識との点で一層磨きが加えられる点だけは安心してよいいずれにしても労資の対立はますます、はげしくなろう。労働者が強ければ強いほど、このような時期には資本家間の団結を弱めることができる。軍事的資本家はその目的の達成が困難になる。

労働組合に望みたいこと—①請負制度の合理化　②残業の原則的廃止　③労働時間の短縮　④そして食える賃金—働き過ぎて首切られ、働きすぎが貧乏になる、貧乏だから働き過ぎ、首切られまいとして働きすぎる、このような悪循環を今年こそブチ切つてほしいものだ。

九州大学教授　奥田八二

ダイヤ改正を要望

終列車に間に合わず朝帰り

三染労組各事業所の汽車通勤をしている三交替者（約二百五十名）の間では交替時間と終列車のくいちがいから無用な過労になやまされ時間改正を強く要望している。つまり二番方の交替時間が十時のため現在の終列車（上り下りとも九時四十分）に間に合わず各所に宿泊し翌朝帰宅、また午後出勤するといつた具合で、非常につかれるといわれている、このためなかには深夜一時間も自転車で通勤している人もある。

榮冠はどこに

大地評驛傳競走二月末日と決定

恒例の大地評駅伝もいよいよ二月二十八日（日曜）に決定、組織をあげての一大絵巻が展開されることになつた。◇予賞総額◇コース（八区間）各労組の社宅廻りを基本線として立案中だが、若干の変更があろうが大体昨年と同コース◇選手十名（補欠を含む）◇その他懸賞募集等も行う。

詩研究會

30日大地評で

こんど大地評と映サ協が中心になつて「詩研究会」を定期的に開催することになつた。こゝでは「わが祖国の詩」（理論社版）などを中心に詩の歴史的背景とか詩史とか、理論的なものに取組む予定。いま職場などで詩をやつてゆこうとする人など多数の参加を待つている。参加者はぜひ自作詩をもつてきて下さい。みんなで批判しあいましよう。

日時　一月三十日（土）六
場所　大地評二階会議室で

二十万圓の幸福

勞金割増定期貯金

二十九年度における労金資金運用面のあい路を打開し、闘争における労働者の経済的、文化的向上を図るため、昨年十一月十六日より二月二十五日まで、二十万円の割増定期貯金が発売中です。一口五百円（一ケ年契約）で全部に利息もつくことになつている。福岡県下六千五百万円の募集割当のうち、千九十二万円が大牟田労金の分です。三染、電化、三煉、製行、東圧、合成等予約を含めて約四百四十万円（割当の四〇％）が消化されているが、各組合の今一段の努力が望まれています。同三鉱労組では、この割増定期については三鉱各支部の窓口で申込みの受付をしています。

詩

貧しいたより

農家の姉へ　炭鉱の妹から

姉さん
ごぶさたいたしました
お元気ですか
くらしむきはいかがですか
麦の出来はうまくいつていますか
こちらはひどく貧しいくらしです
父ちやんが真暗な坑内で
真黒になつて一生けんめい働くのに
ひどい貧乏をしています
貧乏は私のところだけではありません
隣の吉尾さんは高利貸にひどくいじめられ
正月は餅もつけなかつたんですよ
街の者はみんな
希望のない毎日を送つて居ます
なぜ私達がこんなみじめなのか
みんな　よく知つているんです
大牟田の街は汚れています
労働者を　しぼるだけしぼつた
後の煙が街を汚すんです
それが人の心まで汚すんです
ばくち（パチンコ）がはやり
一杯屋が　はんじようして居ます
正直者も苦しめられて
苦しめられると
すてばちになるんです

よごれた大牟田にも　たつた一つ美しいものが

汚れた大牟田の街にたつた一つ
美しいものがあります
赤旗を押し立てて
鉢巻をしめて
労働歌をうたつて
スクラム組んで
つき進んで行く
労働者の姿です
姉さんも御しようちの様に
炭鉱の首切りがあつたんです
男も女も
大人も子供も
生きるために
〝首切り反対〟を叫んで
しつかり手をにぎつて
赤旗を守り続けました
長い苦しい闘いでした
百日以上もがんばつて
どうとう私達が勝つたんです
みんな自分達の力が判りました
みんなで手をにぎつて　がんばれば勝つことが判りました
首切りには勝つたが
やつぱりくらしは苦しいんです
なぜ私達がこんなにみじめなのか
みんなよく知つているんです
兵隊がいてはいけない日本の新聞に
毎日兵隊の事が書いてありますね
兵隊がいてはいけない日本の国民の税金で
兵隊を養うんだそうですね
私達の国日本でアメリカがはばをきかせているでしよう
金持どもがアメリカのいうままに
私達を苦しめるんですネ
金持どもが私達を戦争で殺そうとしてるが
もう私達は黙つていられません
日本の警察が私達日本人を　いためるのにはおどろきました
姉さん達百姓さんも同じ奴等に
苦しめられているんですね
真暗な日本ですね
私達は生きるために
姉さん達百姓さんと
私達街の労働者と
貧乏人がみんなしつかり手をにぎつて
平和と
自由と
生活を
守りましよう
姉さん　赤ちやんはいつですか
お体に気をつけて
貧しい百姓のたよりをよこして下さい
さようなら

=映画紹介=

幻想的な作品

虹の世界のサトコ　ソ連映畫

寫眞は虹の世界のサトコ

ロシヤのオネカ湖地方の伝説をもとに「石の花」の監督ア・プトウシコが演出した総天然色映画。この映画は一九五三年度ヴェニス国際映画でコンクール銀獅子賞を獲得している。

ものがたりは朝焼けのイリメン湖上に、朗々たる歌が流れてくる歌声の主は、貧しい人々を救い、ノヴゴロドの街を自由と平和の理想郷にしようと念願し　夢と希望に胸ふくらませてサドコはノヴゴロドに向う。ノヴゴロドでサトコは美しい乙女リユバーバを見染め、恋の炎を燃え立たせ、二人は相愛の仲となる希望を実現しようと夢みるサトコはある日、彼の歌声と情熱に心ひかれた龍宮の姫君の援助で幸福の鳥を求めて世界漫遊の旅に出発数々の障害と闘いながら、エジプト日本、印度等を巡り再び母なる故郷へ帰つてくる。「幸福の鳥」は果してどこに？（28日よりセントラル）

戦う農民の姿描く

郷土を守る人々

=朝鮮映画=

日本に紹介された朝鮮映画としてはおそらくこれがはじめてのもだろう。朝鮮戦争を戦いぬく朝の農民の姿を描いているのだが映画とは思えないほどの迫力をつている。

映画の舞台は朝鮮共和国北の、とある高原地帯の平和な農村解放後の生活と建設のよろびが村中にみちあふれている。帽子に細長いひもをつけてクグル廻る民族舞踊がめずらしたが朝鮮戦争でこの村もアメリ軍にふみにじられる。虐殺、投獄、重税、アメリカ軍の惨虐ぶりをの映画は最大限の憎しみと怒りこめて描く。と同時にパルチザとなつて米軍と激しく戦う一部村人の姿を英雄的に描いている。なお、この映画は日朝文化交流のとぐちにと、この春、平野義太郎氏が北鮮から托されてきたもので〝朝鮮人民経済復興基金〟募集のため「雪ふみ」と一緒に全国的に上映されているもの。

〝雪ふみ〟

助け合う少年の姿

新潟県南魚沼郡恢神中学校生徒作品集を中心に、教育映画風にとめられた五巻、明けても暮れも雪におゝわれている寒村の姿ありのまゝに見せている。たつた一つの副業はカマスを織るということだけ。せまい、やせた土地を耕やしているこの村の人々はみんな共通に貧しい。しかし、少年たちはみんなお互に貧しいのだから、貧乏ということを恥かしいことだと思うまい—という気持になつて行く。その気持ちの移り変りを、通俗的だが少年たちにも分りやすく描いた演出の努力を認めたい。一般の映画館に上映してもいゝ作品だ。雪国のことを知らない南の国の少年たちには、特に見せたい教育映画であり、少年たちが助け合つている姿が美しく描かれているのがいゝ。

映畫の夕

廿六日勞働會館で

日朝親善協会支部準備会では大地評、映サ協、朝鮮民戦などの後援で、二十六日（火）午後一時、六時の二回、労働会館で「郷土を守る人々」と「雪ふみ」の〝映画の夕〟と特別出演〝朝鮮の歌と踊り〟がある。参加御希望の方は事務局まで。